

平成18年12月26日

小山市長 大久保 寿夫 様
小山市議会議員 山口 忠保 様
小山市教育長 清水 悟 様

社団法人 日本建築学会関東支部
支部長 片桐 正夫

故小野塚イツ子氏寄贈屋敷内における歴史的建造物に対する保存要望書

拝啓、時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、貴市におかれましては、平成16年1月に故小野塚イツ子氏より寄贈を受けた膨大な動産・不動産遺産に関して、その利活用に着手されはじめた旨、聞き及んでおります。

このうち、天神町2丁目に所在する小野塚家の旧屋敷地に関しまして、旧醤油工場・煉瓦煙突・旧もろみ蔵など既存の歴史的建造物群のうち旧もろみ蔵だけを残して他を解体撤去し公園化するという計画が11月15日に白紙撤回され、再検討に至ったことが新聞報道されております。

別紙見解のとおり、小野塚家の旧屋敷地は旧日光街道を挟んで両側に所在し、双方に歴史的建造物群がのこり、現在の小山市においては貴重な歴史的景観を留める区域です。すなわち、西側屋敷地(天神町1丁目)は本来の生業・居住の場で、生業の肥料商を営んでいた時代の店舗建築と土蔵、大谷石を張った蔵および倉庫がのこっています。一方、東側屋敷地(天神町2丁目)は明治40年以後大正6年以前に取得して昭和23年頃まで醤油醸造を営んだ後、弁護士事務所や居住地に利用してきたもので、屋敷地内に醤油醸造時の遺構として旧醤油工場・旧もろみ蔵・煉瓦煙突が現存しています。旧醤油工場・旧もろみ蔵の現状は、表面的な化粧直しにより内外装は変化していますが、柱・梁・小屋組など主要構造部は建築当初材がよく残り、変遷把握や復原考察は比較的容易です。そしてこれらの建造物は、醤油醸造過程の火入れで使用した煉瓦煙突と共に、伝統的な醤油づくりを伝える貴重な産業遺産として文化財的価値の高いものです。しかも産業遺産という性格上、醤油工場・もろみ蔵・煉瓦煙突の3件が1対で残されている点が貴重です。また、醤油醸造施設を住居に転用していく過程も小野塚家の歴史として貴重で、記録に留める必要があります。さらに貴市は総合計画で「歴史や文化的資産を大事にする」ことを宣言されている以上、小野塚家のご厚意で公有化が実現した文化財的価値の高い歴史的建造物群こそ小山市当局自ら率先して保存活用を検討するべきです。

したがって、貴市におかれましては、再検討を表明された天神町2丁目所在の旧小野塚家東側屋敷地に対しまして、産業遺産として文化財的価値が高い旧醤油工場・旧もろみ蔵・煉瓦煙突の保存を前提に、敷地内の建物や植栽をできるだけ活かした有効活用をご検討いただき、あわせて天神町1丁目の旧小野塚家西側屋敷地に関しましても現存遺構の十分な調査に基づく保存活用計画を立案されることを願い、ここに保存要望書を提出いたします。

なお、日本建築学会関東支部といたしましても、建物や屋敷地の保存活用に関して、できうる範囲でご協力する所存でありますことを付け加えさせていただきます。

敬具